

6月
は
環境
月間
です



そらんぽ四日市
ホームページ

6月5日は環境基本法に定められた「環境の日」です。そして、6月の1か月間は「環境月間」として、全国でさまざまな行事が開催されています。

私たちが取り組むべき環境問題は、今月号の特集でも触れた地球温暖化のほかにも、食品ロスや海洋プラスチックなどのごみ問題、生物多様性の問題など、数多くあります。

今、私たちにできることは、どんなことがあるでしょうか。例えば、ゴーヤなどのツル性植物を育てて、太陽を遮光するグリーンカーテンを作って夏の日差しを和らげる、生ごみのたい肥化でごみを減らす、自然観察会や自然

環境保護活動に参加するなど、身近に取り組めることがいろいろあります。

「四日市公害と環境未来館」では、環境について学べる展示や、環境学習講座を開催しています。広報よっかいち下旬号や当館ホームページでご確認ください。

この機会に環境について考え、できることから始めてみてはいかがでしょうか。



草花や昆虫を探す自然観察会

☎ 四日市公害と環境未来館 (TEL) 354-8065 (FAX) 329-5729

四日市
への
弥生
文化の
到来
「永井遺跡」

神前地区にある永井遺跡をご存知でしょうか。伊勢平野を望むこの遺跡は、海蔵川と三滝川に挟まれた尾平町の台地上に位置しています。

昭和47年に発掘調査が実施され、集落を堀のように溝で囲う、弥生時代前期に築かれた「環濠集落」の跡が見つかりました。また、環濠からは壺や甕などの大量の弥生土器や、石鏃・石斧といった石器、漁に使うおもりである土錘も出土しました。

この遺跡の存在は、今から約2,400年前に、朝鮮半島や大陸から九州北部に伝わった稲作と、それに伴う道具や祭祀などの生活様式が、東方へと順次

伝播していく中で、現在の本市を含む伊勢湾西岸の北部に弥生文化として到達したことを示しています。

現在は宅地となった部分が多い遺跡ですが、発掘調査が実施された範囲のうち、約500㎡が「永井遺跡公園」として保存されています。皆さんも一度訪れてみてはいかがでしょうか。



永井遺跡公園

☎ 文化課 (TEL) 354-8238 (FAX) 354-4873